

人と人との関わりで大切なものは、言葉じゃなくて気持ちなんだということをこのスタディツアーで僕は学びました。

ホストファミリーの方々は、みんな温かく、初めて会う僕を本当の家族のように迎えてくれました。片言だけれど、一生懸命会話をしたり、一緒に行動したりしていくなかで、気持ちが通じ合えるようになっていきました。言葉よりも大切なものを実感した9日間でした。

私の家族

蒲郡中 竹嶋 梨沙 ★

私は、ホストファミリーの方にエミューのえさやりなど、さまざまな経験をさせていただきました。しかし、言葉が伝わらないことが多く、初めの2日間ぐらいはすごく不安でした。でも、ホストファミリーの方は、どんな時でも私にゆっくりと分かりやすく話してくれました。私は、そのたびに本当の家族のような温かさを感じました。私は、もうひとつの家族との新しい出会いに感謝しています。

ホームステイで学んだこと 三谷中 藤田 啓介 ★

僕は、ホームステイで、相手を受け入れることの大切さを学びました。ホストファミリーは、いつも、僕が何かを言おうとしていると、こちらの方を向いて聴いてくれて、言えずにいと、笑顔で待ってくれます。相手を思いやれば、言葉が通じなくても気持ちが伝わることを知りました。ホームステイは、夢のような時間でした。これからも、周りをよく見て、相手を思いやっていかうと思います。

Speak English!

三谷中 加納 梨花 ★

私は英語が大好きです。「自分の英語力はどれくらいのものなのか」試す気持ちで出発しました。現地の英語は、今まで聞いてきたものよりもとても速く、なまりもありました。質問は聞き取れても、答えを言うのに苦労しました。「もっと英語がしゃべれたら、日本のいい所をたくさん伝えられるのに。」と悔しい思いが残りました。英語が話せる人になりたいと強く感じたスタディツアーでした。

ブライツP12校を訪問したとき、たくさんの現地の人が「こんにちは」と日本語であいさつをしてくれました。僕たちを迎えるために準備してくれたことを思うと、とてもうれしくて温かい気持ちになりました。オーストラリアの人たちはとても陽気で、英語で通じなかったときには身ぶり手ぶりで会話して同じ時間を過ごせました。

スタディツアーに参加できたことに、本当に感謝しています。

オーストラリア ★

中学生による海外派遣事業が、10月15日～23日の8泊9日の日程で行われました。

市内の7中学校14人の生徒がオーストラリアを訪問し、現地の中学生との交流やホームステイを通して、海外の生活、文化、風土に対する理解を深めました。

今号では、参加した生徒の声をご紹介します。

学校教育課 ☎66♦1165

スタディツアーを通して 塩津中 金田 夏実 ★

私がスタディツアーで一番感じたことは、相手に気持ちを伝える大切さです。ホストファミリーの人たちは、私が何を言っているのか分からないとき、ゆっくり話したり、ジェスチャーを使ったり、簡単にしてくれたり、少しでも分かるように気遣ってくれました。言葉で伝えるのも大事ですが、改めて相手の立場を考えていくことの大切さを知ることができました。日常生活で生かしていきたいです。

オーストラリアの家族

大塚中 近藤 良一 ★

ホストファミリーと初めて会ったときは、言葉が通じるか不安でした。初めて話しかけられた言葉は分からなかったけれど、簡単な英語で分かりやすく話してくれてとてもうれしかったです。日本のことに興味をもって来て、僕が日本語を教えたり、日本から持って行ったおみやげのおもちゃと一緒に遊んだりして毎日楽しく過ごすことができました。とても優しいホストファミリーに出会えてよかったです。